ラゲブリオ®を服用する
患者さん・ご家族の方へ

新型コロナウイルス感染症の治療について

- 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は、新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）による感染症で、咽頭痛、鼻汁・鼻閉といった上気道症状に加え、倦怠感、発熱、筋肉痛といった全身症状を伴うことが多いとされています。
- 特に高齢者や基礎疾患のある方が感染すると、重症化するリスクが高まります。
- 外来の治療では、患者さんの症状やワクチンの接種状況、重症化するリスクなどを考慮して、下記の治療などを必要に応じて行います。

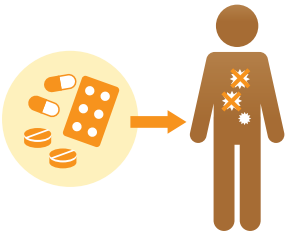
新型コロナウイルス感染症の治療目的

症状に対する治療



発熱やのどの痛みをやわらげる解熱鎮痛薬、咳をしずめる鎮咳薬などを使用します。

抗ウイルス薬による治療



新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）の増殖を阻害するお薬で、からだの中のウイルス量が増えないようにします。

なぜ、抗ウイルス薬を服用するのか？

○重症化（入院・死亡）を減らす
○症状を出にくくする、早く和らげる

抗ウイルス薬は、発症後速やかに服用することで、効果を発揮します。
新型コロナウイルスは発症日には体内のウイルス量がピークに達しています。ご自身の重症化を防ぎ、まわりの人へ感染させるリスクを減らすためにも、新型コロナウイルス感染症の症状が発現したら速やかに診断を受け、速やかに新型コロナウイルス感染症の治療を開始することが重要になります。

ラゲブリオ®とは・服用方法

このお薬は、新型コロナウイルス感染症の治療薬です。

- 新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)の増殖を阻害することで、抗ウイルス効果を示すお薬です。
- 1ボトルが一人分です。

服用方法

服用前に必ずお手元のお薬の種類（カプセルまたは錠剤）を確認してください。

ラゲブリオ®カプセル200mg

（1ボトル40カプセル入り）





実物大

1回4カプセルを1日2回、5日間服用してください。



※コップ1杯程度の水またはぬるま湯で服用してください。

ラゲブリオ®カプセル200mgは2025年2月に通常承認を受けました。

ラゲブリオ®錠400mg

（1ボトル20錠入り）





実物大

1回2錠を1日2回、5日間服用してください。



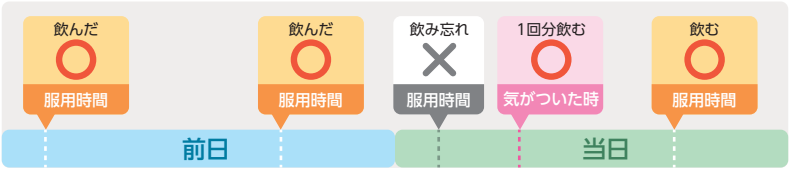
※コップ1杯程度の水またはぬるま湯で服用してください。

- ラゲブリオ®は食事の有無にかかわらず服用できます。
- 症状が発現してから速やかに服用し、症状がよくなっても自己判断せずに5日間飲み切ってください。

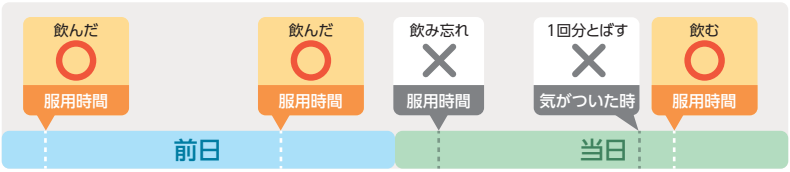
飲み忘れてしまったら

決して2回分を1度に服用しないでください。

■ 飲み忘れに気がついた時に、1回分を服用してください。



■ ただし、次の服用時間が近い場合（2時間を目安）は1回分をとばして、次の服用時間に1回分を服用してください。



お薬が残ってしまったら

万が一、お薬が残ってしまった場合でも、絶対に他の人に譲らないでください。

- 症状がよくなった場合でも5日間飲み切ってください。
- 残ったお薬は保管せず、患者さん自身で廃棄又は薬剤師にお渡しください。

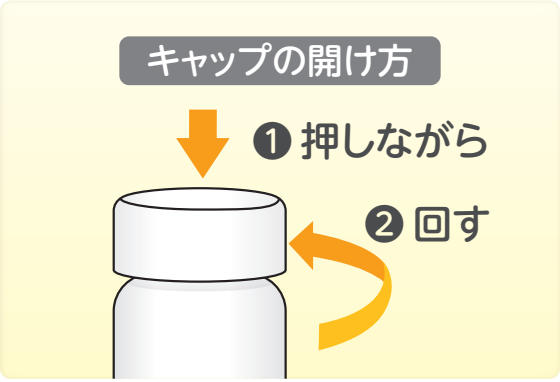
絶対に他の人に渡してはいけません。



ラゲブリオ®のボトル開閉方法と保管方法

開閉方法

- 誤開封を防ぐ仕組みのため、
  ❶ボトルキャップを押しながら ❷左に回すと開きます。
- キャップを閉める際、押したり、過度に力を入れて回さないでください。
  （※キャップを開けにくくなる恐れがあります）



保管方法

- キャップを閉めて、ボトルのまま保管してください。
- 直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- 子どもの手の届かないところに保管してください。

ボトルの開け方、閉め方を動画でも紹介しています。
こちらの二次元コードよりアクセスしてください。

次に該当する場合は、ラゲブリオ®を使用できません。

- 過去にラゲブリオ®に含まれる成分で過敏症のあった人
- 妊婦または妊娠している可能性がある人

次に該当する場合は、ラゲブリオ®の使用に注意が必要です。ラゲブリオ®を使い始める前に、医師または薬剤師にお申し出ください。

- 授乳中の人

妊娠している女性
妊娠している可能性のある女性は、
ラゲブリオ®を使用できません。

- **現在、妊娠中又は妊娠している可能性がある場合には、ラゲブリオ®を服用できません。少しでも可能性がある場合は、必ず担当の医師、看護師または薬剤師にお伝えください。**
  ー前回の月経後に性交渉を行った場合は妊娠している可能性があります。避妊をしていても妊娠していないとは限りません。
  ー妊娠初期の妊婦では、妊娠検査で陰性を示す場合があります。
- 妊娠する可能性のある女性は、ラゲブリオ®の服用中～服用終了後4日間に性交渉を行う場合は、パートナーと共に適切な避妊を行ってください。
- ラゲブリオ®を服用中～服用終了後4日間に妊娠した、あるいは妊娠していることがわかった場合は、直ちに医師、看護師または薬剤師に相談してください。

ラゲブリオ®の副作用

重大な副作用

アナフィラキシー（頻度不明）
主な自覚症状：全身のかゆみ、じんま疹、喉のかゆみ、ふらつき、
動悸（どうき）、息苦しい

その他の主な副作用

下痢、悪心、浮動性めまい、嘔吐、頭痛、発疹、じんま疹、中毒性皮疹、紅斑、そう痒、血管性浮腫

まだ知られていない副作用やリスクがあるかもしれません。これまでに報告されていない症状・疾患が現れる可能性もあります。異常を感じた場合には、医師、看護師または薬剤師にご相談ください。



体調の変化以外でも、
お薬の服用方法でわからないことや
心配なことがあれば
ご自分で判断せずに
医師、看護師または薬剤師に
すぐに相談してください。

医療機関名

ラゲブリオ®を服用される患者さんに、服用方法、服用の際の注意点などを掲載したWebサイトをご用意しております。



こちらからアクセスしてください。
https://www.msd.co.jp/healthcare/medicine-product-list/lagevrio/

MSD

2026年9月作成
LAG25PA0053A